

平成23年度技術士第二次試験問題【経営工学部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 少子高齢化，経済のグローバル化，中進国の経済成長など，我が国を取り巻く環境は厳しさを増し，企業は持続的な成長をとげるために，絶えず事業ライフサイクルを見直し，これと連動させながら，経営面はもちろん，技術的な側面においても適切な対応をしなければならない状況にあり，経営工学に関連する課題も数多く存在している。次に示す5問題のうち，1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－1 国内及び中進国との競争が激化する中，企業活動のグローバル化が進み，製造業では海外生産比率が高まっている。この様な状況に対応するためには，経営資源のさらなる効率的な運用が求められている。次の問いに答えよ。

(1) 企業が取り組むべき基本的な課題を3つ挙げよ。

(2) Q・C・D それぞれの面から解決するための具体的な方策を述べよ。

Ⅱ－2 企業は，顧客ニーズに応えるべく新製品を絶えず市場に出し続けるなど，種々の対応に迫られるが，顧客が製品の潜在的な価値を見出し，顧客価値が最大化されるためには，製品の利用に関わるサービス活動も必要である。次の問いに答えよ。

(1) サービス活動を行う場合に問題となる事項を挙げて説明せよ。

(2) これらの事項の解決方法を提示し，サービス提供側（フロントヤード）と製品提供側（バックヤード）との関係，サービス提供側（フロントヤード）と顧客の役割について述べよ。

Ⅱ－3 ロジスティクス（物流，包装及び流通加工を含む。）分野において，新しいビジネスモデルを企画・構築し，それを発展させて十分な成果を得なければならない。この事業ライフサイクルの各段階において，それぞれどのようなことを検討する必要があるのか，事例を用いて説明せよ。

Ⅱ－4 このような厳しい環境の中で事業ライフサイクルを見直すに当たって，数理的的手法あるいは統計的手法の観点から，技術的な問題点や課題について述べ，さらに，これらの問題点や課題に対処する方策について述べよ。

Ⅱ－５ 事業立ち上げ後間もない時期と、事業が安定して推移している時期とに分けた場合、それぞれにおいてヒト、モノ、カネに関わるリスク管理を行う必要がある。その中で資金調達に関わる問題点と対処方法について述べよ。